

令和5年度 保護者学校評価アンケート 全体集約結果

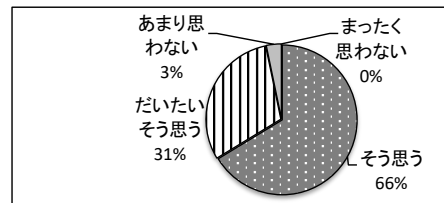
R05.12実施

△:昨年度よりアップ ▼:昨年度よりダウン ()は昨年度

回答数 92/94 98 %

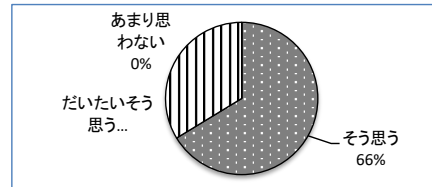
1 子どもたちが毎日通いたくなる、楽しく学べる学校になっている。 (人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
61	28	3	0
97%(98) ▼		3%(2)	



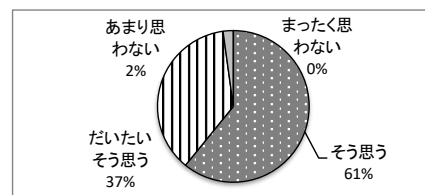
2 ささまざまな感染症に対する感染防止対策を適切に行い、子どもが安全安心で快適な学校生活を送ることのできる教育環境となっている。 (人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
61	31	0	0
100% (97) △		0% (3)	



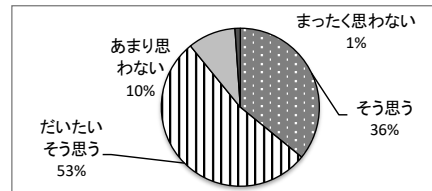
3 子どもの実態や個性に合わせた工夫のある学習が行われ、成長が見られる。 (人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
56	34	2	0
98% (98)		2% (2)	



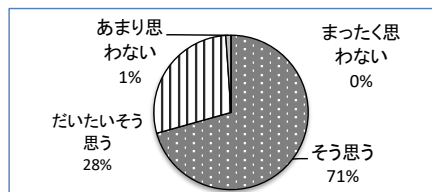
4 学校周辺の地域の方や施設、居住地の園や学校などとの交流活動は十分に行われている。 (人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
33	49	9	1
89%(84) △		11%(16)	



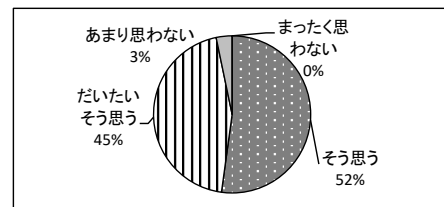
5 保護者の連絡や相談に対して、教職員が適切に対応している。 (人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
65	26	1	0
99% (96) △		1%(4)	



6 おたより、ホームページ、学校公開などを通して、保護者や地域の方に対して、教育方針や様々な活動の様子について伝えている。 (人数)

そう思う	だいたいそう思う	あまり思わない	まったく思わない
48	41	3	0
97% (96) △		3%(4)	



様々な感染症や熱中症などへの対策を講じて授業や行事等を行いました。6つの評価項目のうち5項目について「そう思う」または「だいたいそう思う」の評価を合わせた割合が90%台の評価をいただきました。

◇【4：交流及び共同学習】では「感染症対策で交流が少ない」「コロナが落ち着いてきたので交流を進めてほしい」という記載がありました。聴覚、知的小学部での西荒瀬小交流や知的高等部の西荒瀬地区文化祭へのバザー製品提供など、継続している交流の他、学校間交流のみではなく、魚さばき体験や新しい場所でのバザーなど地域とのつながりの学習も広がっています。取り組みについてさらに、学部、学校からお便りやHP等で情報発信を工夫させて進めていきます。

◇【2：教育環境】については「そう思う」の評価が増えました。感染症や熱中症等の予防など安全安心して学べる環境づくりを今後も工夫していきます。【3：子どもにあった指導・支援】【1：楽しく学べる学校】については心身の成長や学習の内容の変化に対する指導の充実を求める意見もありました。子ども一人一人の特性や状況を踏まえて、できた、わかった、またやりたいと思えることを大切に授業づくりとその実践を大切にしていきます。また、学習の取り組み等を一層ご理解いただけるように【6：学校情報の発信】についてもわかりやすく丁寧な方法を今後も工夫していきます。

◇【5：相談への対応】については送迎時の情報共有や連絡帳でのやり取りなどを通し、担任との関係づくりを丁寧にさせていただいていると感じています。今後もさまざまな相談に適切に対応ができるよう、研修等を通して、一人一人の職員が専門性を身につけ、子どもたちの指導と支援にあたりたいと考えています。